



本日「巡る芸術鑑賞会」を実施しました

串高と市来農芸高校の1・2年生が、鹿児島市内の文化施設を巡る学習をしました。

今回のこの企画は、県教委による「魅力ある県立高校づくりプロジェクト～小規模サポート事業～」の補助を受けて実現したものです。芸術、文化、歴史の素養に触れるとともに、市来農芸高校の生徒との交流を図ることもできました。

生徒たちはグループ単位で行動。行き先はグループによってそれぞれです。県立博物館・プラネタリウム、鹿児島市立美術館、黎明館、県立図書館、鹿児島近代文学館・メルヘン館の中から2施設を選択し、巡りました。

学校教育活動での「芸術鑑賞」と言えば、私の知るところでは、ほとんどの学校ではホール内での観劇、コンサート、落語等といったものが一般的です。それぞれで十分によいのでしょうけれど、与えられたものを鑑賞する……これって「受け身」ですよ。

今回の「巡る芸術鑑賞会」は「**実際に足を運ぶ**」ことに大きな意義があると感じました。生徒たちが何を収穫するかは、本人たちの主体性、積極性、感性しだいです。生徒たちはどんな作品に出会い、立ち止まったのでしょうか。どんな感想を持ったのでしょうか。

一人一人の心に残ったものが異なってもよいのです。感じるものが異なってもよいのです。

ただし、感じたことを言語化することは大事です。グループ内で感想を言い合う等して、話題を共有できたという場面があったのでしょうか？ なお、事後活動として、各自、鑑賞レポートを作成することとしています。



ところで、保護者の皆さんは、博物館や美術館へお出かけになることってあるのでしょうか。

ここ数日で、だいぶ涼しくなってきました。「芸術の秋」の到来です。どこかの館へ足を運んでみられてはいかがでしょうか。

